

大和市の2019年 こんなことがありました

2019年(平成31~令和元年)の大和市の主な施策、イベント、ニュースなどを紹介します。

ひきこもりの相談窓口「こもりびと支援窓口」を開設。「こもりびとコーディネーター」が気持ちに寄り添って相談を受けます。



大和市特別支援教育センター「アンダアンテ」を旧林間学習センター施設に開設。



「おひとり様などの終活支援事業」を実施。高齢の一人暮らしの人などを対象に葬儀や納骨の生前契約などを支援します。



市立病院脳神経内科で認知症外来を開始。



※受診には、医師の紹介状と事前予約が必要です。

新たな学びの場として「健康都市大学」を開講。市民でつくる健康学部では、多くの市民が講師として活躍しています。



保育所等の新設などにより定員拡大を進め、4年連続で4月1日の待機児童数ゼロを達成*。



※平成29年度以降の3年間は、厚生労働省による待機児童の新定義による。

登下校の見守り活動を充実させるため、「子ども見守り活動協議会」を設置。



南林間の大和園場跡地に、雨水地下貯留施設、大型防災備蓄倉庫など防災機能を備えた「やまと防災パーク」をオープン。



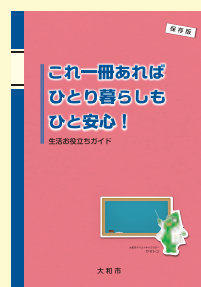
緊急事態に備え、市立保育所、市立小学校の全教室、放課後児童クラブにさすまたを配備。



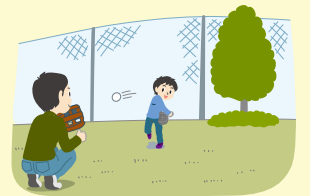
簡易版「タブレット端末を活用した認知機能検査」を導入。地域包括支援センターの相談者に、必要に応じて実施します。



「生活お役立ちガイド」を発行。高齢の一人暮らしの人などに役立つ情報を、分かりやすく4コマ漫画で紹介しています。



公園に防球ネットなどを設置し、ボール遊びもできる公園をさらに15か所整備中。(11月30日時点)。



民間事業者との協定により、有料のシェアサイクルサービス(社会実験)を開始。

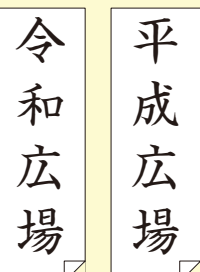


お出掛けや買い物に!

市立小学校の全児童が携帯できるよう、未配布の1~4年生に防犯ブザーを配布。



平成から令和への改元を機に、引地台公園南側の多目的広場を「令和広場」、北側の自由広場を「平成広場」と命名。



ウェブサービス「おとなの健診「らくらく健診」」を開始。がんのリスクチェックや健診案内などを提供します。



夏休み・冬休みの中学校寺子屋やまとの対象を中学3年から全学年に拡大。



9月23日、シリオウスの累計来館者数が900万人を突破。11月3日には開館3周年を迎えました。



3周年記念イベント

大和市の認知症施策

「認知症1万人時代」に備え、さまざまな認知症施策を進めています。



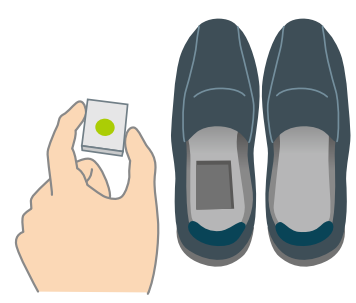
平成28年9月、「認知症1万人時代に備えるまち やまと」を宣言。認知症の人への理解を深め、互いに支え合うまちを目指しています。

認知症1万人時代に備えるまち やまと



認知症の人が他人の物を壊すなどして損害賠償責任を負ったとき、最大3億円を補償。はいかい高齢者等SOSネットワーク登録者が対象です。

はいかい高齢者個人賠償責任保険事業



認知症で徘徊し、行方が分からなくなった人を早期に発見し、保護するため、小型GPS端末を入れた靴の利用を支援しています。

はいかい高齢者等位置確認支援サービス



認知症を理解し、認知症の人や家族を温かく見守る「認知症サポーター」。同サポーター養成講座の受講者に配付する「オレンジリング」がシンボルです。

認知症サポーター養成講座



タブレット端末で手軽に取り組む「脳とからだの健康チェック」。注意力や記憶力などの認知機能検査や簡単な体力測定、保健指導を実施します。

タブレット端末を使った認知機能検査



計算やしりとりなどをしながら運動をする「コグニサイズ」。認知症予防セミナーなどに取り入れ、脳と体の機能向上を目指します。

コグニサイズで認知症予防

[問] 保健福祉センター高齢福祉課認知症施策推進係 ☎046-260-5612 FAX 046-260-1156

大和市 認知症灯台

認知症について困ったときの道しるべ

高齢化の進行に伴い、将来、認知症のかたが増加すると予想されています。市は、認知症に関して困ったり迷ったりしたとき、まず相談いただきたい総合相談窓口「認知症灯台」を来年1月6日(月)に開設します。

この窓口では認知症に関するあらゆる相談を受け付けます。内容に応じて市の関係課や外部の関係機関につないだり、医療機関を案内したりします。

「認知症灯台」は、認知症を心配する人やその家族の皆さんにとっての希望の光、道しるべとなります。

場 所：保健福祉センター4階 高齢福祉課内
専用電話：046-260-5641

